

---

# Express5800/R32Bb シリーズモデル

## EXPRESSBUILDER 更新ガイド

---

GZS-002365-001-00  
2026年 5月 第1版  
© NEC Corporation 2026

# 目次

目次.....	2
1. はじめに .....	4
2. 本書について.....	4
2.1. 本文中の記号について.....	4
3. 準備 .....	5
3.1. 事前確認 .....	5
4. 接続.....	6
5. 装置基本操作方法 .....	7
5.1. iLO WEB インターフェース接続方法 .....	7
5.2. リモートコンソール接続方法 .....	10
5.3. EXPRESSBUILDER のマウント方法.....	12
6. EXPRESSBUILDER 更新手順.....	15
6.1. EXPRESSBUILDER 更新手順 .....	16
7. トラブルシューティング .....	22
7.1. [TS-01] 特殊文字(@等)を入力できない .....	22
7.1.1. 現象.....	22
7.1.2. 対処.....	22
8. 付録.....	23
8.1. EXPRESSBUILDER バージョン確認方法.....	23
8.1.1. iLO Web コンソールでの確認方法 .....	23
8.1.2. System Utilities での確認方法 .....	24
8.2. HTML5 リモートコンソール .....	25
8.2.1. コンソールの起動.....	25
8.2.2. 仮想メディアのマウント方法.....	26
8.2.3. 本体装置の電源制御方法 .....	29

## ご注意

1. 本書の内容の一部または全部について、許可なく複製・転載・翻訳・他形式・メディアへの変換を行うことは、禁止されております。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一お気づきの点や、ご不明の点がありましたら、弊社までご連絡ください。
4. 本書記載操作を行った結果の影響については、上記 3 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
5. 本書は、本体装置の操作に熟知した管理者、または保守員向けに記載されております。本体装置の取り扱いや、各種 OS の操作、その他一般的かつ基本的な事柄につきましては記載を省いておりますのであらかじめご了承ください。

© NEC Corporation 2026

日本電気株式会社の許可無く、本書の複製・改変などを行うことはできません。

## 1. はじめに

このたびは、Express5800/R32Bb シリーズ製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
本書は、下記製品向けの文書となります。

対象製品 (本体装置)	Express5800/R32Bb-E2
-------------	----------------------




## 2. 本書について

本書は、対象本体装置にインストールされている EXPRESSBUILDER を更新するための手引きです。

EXPRESSBUILDER 更新作業時間	大凡 50 分 (1 本体装置あたり)
--------------------------	---------------------

### 2.1. 本文中の記号について

本書では、下記 3 種類の記号を使用しています。  
これらの記号と意味をご理解になり製品を正しくお取り扱いください。


 重要	製品の取り扱いや、OS、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や、特に注意すべき点を示します。
 チェック	製品や OS、ソフトウェアを操作する上で、確認しておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役立つ情報や便利な事柄を示します。



また、本文中に掲載している画面イメージは一例であり、対象製品、対象製品の構成及びご使用 EXPRESSBUILDER に依り若干異なる場合がありますが、操作する上で支障のない差異ですので、予めご承知おきください。

## 3. 準備

本作業では、対象本体装置以外に下記物品が必要となりますので、予めご準備ください。

**Table 3-1 必要となる物品**

物品	数量	備考
端末パソコン	1	本体装置に接続し、本体装置を操作するために使用します。  ご使用になる EXPRESSBUILDER ファイル(iso ファイル)を、予め当該端末パソコンのローカルディスクに収録しておいてください。
ディスプレイ	1	本体装置に接続し、本体装置の画面として使用します。
LAN ケーブル	1	本体装置と端末パソコンを接続するために使用します。

 <b>ヒント</b>	<p>既に、本体装置のマネージメント専用 LAN コネクタ(iLO)を介した iLO Web インターフェースへの接続環境を構築されており、且つ下記物品或いは情報をご存じである場合、前記&lt;Table 3-1 必要となる物品&gt;は不要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- iLO Web インターフェースにアクセスする端末</li> <li>- iLO Web インターフェースの User Name と Password</li> <li>- iLO Web インターフェースの IPv4 アドレスもしくは IPv6 アドレス</li> </ul>
 <b>重要</b>	<p>ご使用になる EXPRESSBUILDER ファイル(iso ファイル)を、予め iLO Web インターフェースアクセス端末のローカルディスクに収録しておいてください。</p>

### 3.1. 事前確認

#### [事前確認 01]

本書記載 EXPRESSBUILDER 更新手順では、Secure ブートに対応していません。よって、本体装置の Secure ブートが有効になっている場合には、一旦無効に変更して頂き、一連の EXPRESSBUILDER 更新作業終了後に有効に戻してください。

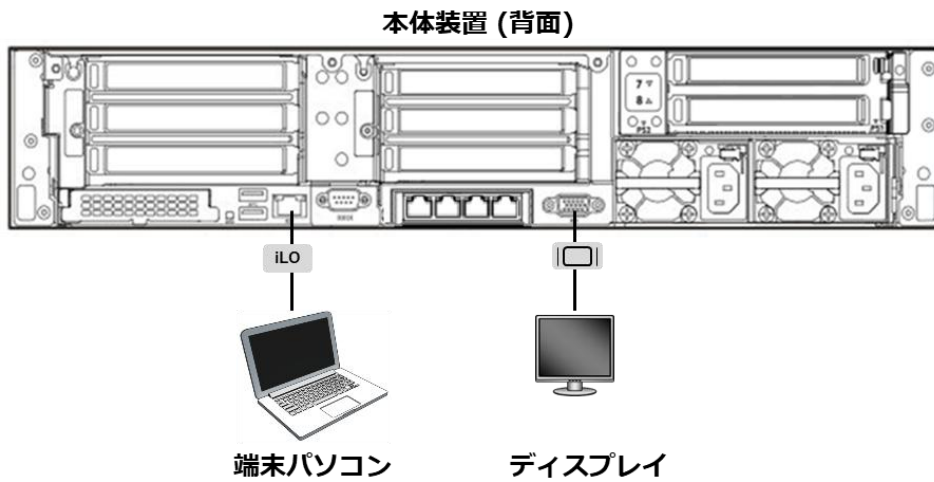
Secure ブートの現在の設定値は、{System Utilities: System Configuration → BIOS/Platform Configuration(RBSU) → Server Security → Secure Boot Settings → Current Secure Boot State}で確認できます。

Secure ブートの変更は、{System Utilities: System Configuration → BIOS/Platform Configuration(RBSU) → Server Security → Secure Boot Settings → Attempt Secure Boot}で行えます。

## 4. 接続

ご準備頂いた物品を下図のとおり本体装置に接続します。

Figure 4-1 接続図 (R32Bb-E2 モデル)



端末パソコンと本体装置は、LAN ケーブルで直結させてください。



既に、本体装置の管理専用 LAN コネクタ( **iLO** )を介した iLO Web インターフェースへの接続環境を構築されている場合、そのままの接続環境で構いません。

## 5. 装置基本操作方法

本書記載の EXPRESSBUILDER 更新手順では、本体装置に接続した端末パソコンから本体装置の iLO Web インターフェース及び本体装置のリモートコンソールに接続して更新作業を行います。

また、本体装置内 iLO のリモートメディア機能を使って、EXPRESSBUILDER を本体装置にマウントして更新作業を行います。

ここでは、予め、iLO Web インターフェース接続方法、リモートコンソール接続方法、及び EXPRESSBUILDER のマウント方法を記載します。

### 5.1. iLO Web インターフェース接続方法

#### [step.a-01] iLO Web インターフェースへの接続情報の確認

##### A. iLO Web インターフェースの User Name と Password の確認

本体装置前面のスライドタグにある iLO ライセンスシール中に記載されている「User Name」と「Password」を控えます。



既に、iLO Web インターフェースの User Name と Password をご存じである場合、本作業は不要です。

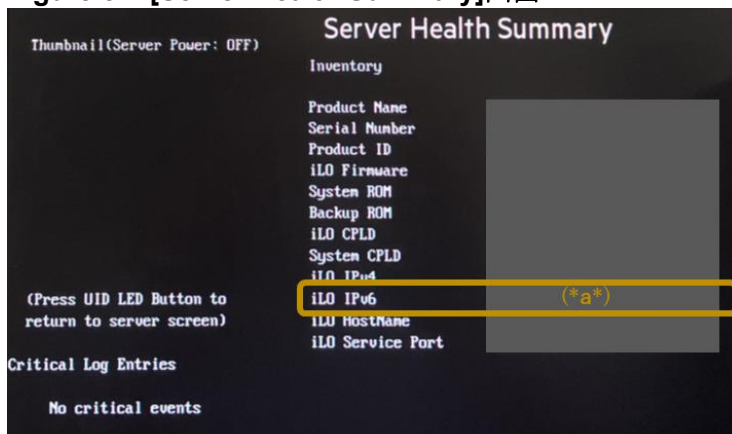






以降の作業で、この User Name と Password が必要になります。

##### B. iLO Web インターフェースの IP アドレス(IPv6)の確認

- ① 本体装置の電源コードをコンセントに取り付けます。
- ② **Server Health Summary** 画面をディスプレイに表示させます。  
具体的には、前記①の後、本体装置前面の **POWER** ランプがアンバー色に点灯していることを確認した上で、UID スイッチを押します。  
そうすると、ディスプレイに下図画面が表示されますので、下図(\*a\*)箇所の「iLO IPv6」のアドレスを控えます。

Figure 5-1 [Server Health Summary]画面



	<p>既に、iLO Web インターフェースの IPv4 アドレスもしくは IPv6 アドレスをご存じである場合、本作業は不要です。</p>
	<p>IPv6 の仕様として、セクションが"0"で始まる場合、"0"を省略して表示しても良いことになっています。</p> <p>そのため、表示される IPv6 アドレスの各セクションが 4 桁ではない場合があります。その際は、各セクションが 4 桁となるように、セクションの先頭に"0"を付加して控えてください。</p> <p>(例) 表示値: fe80::9618:82ff:fe71:2b4 控え値: fe80::9618:82ff:fe71:02b4</p>
	<p>前記①の後、本体装置前面の POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯していた場合、本体装置の電源が ON されています。</p> <p>その場合は、POWER スイッチを 4 秒以上押し続けて、本体装置の電源を OFF します (スタンバイ状態にします)。</p> <p>本体装置の電源が OFF されると、POWER ランプがアンバー色に点灯します。</p>
	<p>以降の作業で、この IPv4 アドレスもしくは IPv6 アドレスが必要になります。</p>

## [step.a-02] iLO Web インターフェースへの接続とログイン

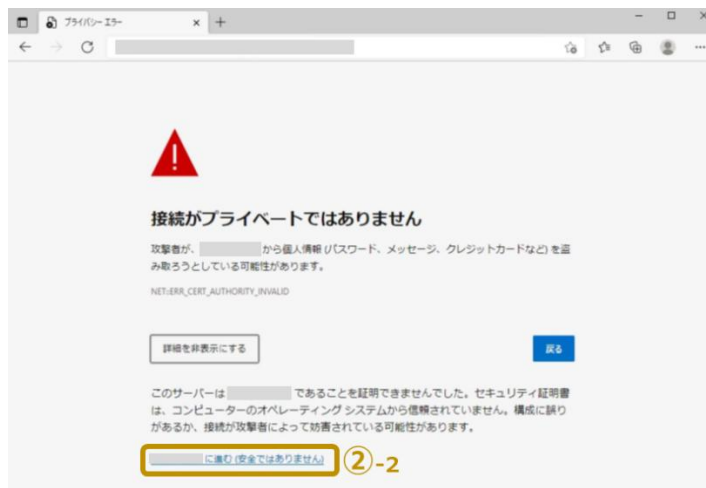
### A. iLO Web インターフェースへの接続

- ① 端末パソコンにて Web ブラウザ (Microsoft Edge 等) を起動し、前記作業で控えておいた iLO Web インターフェースの IP アドレスをアドレスバー (①) に入力します。

例) [https://\[abcd::efgh:ijklmnop:qrst\]/](https://[abcd::efgh:ijklmnop:qrst]/)

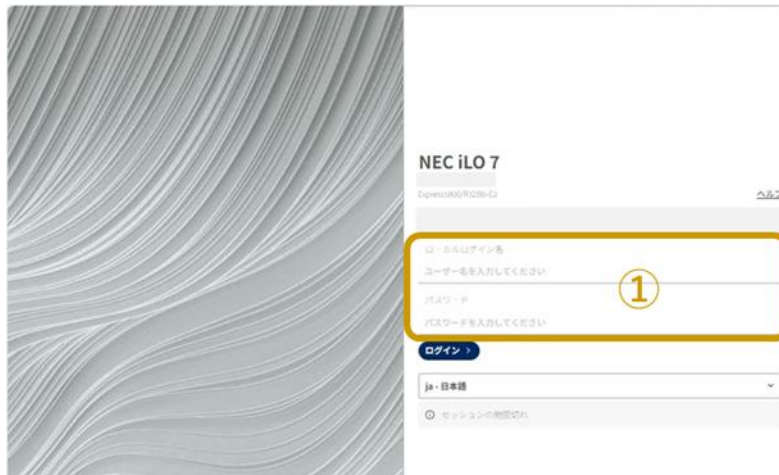


- ② セキュリティ警告が表示された場合は、上図画面の「詳細情報」(②-1) をクリックします。そうすると、下図画面表示になりますので、「xxxx に進む (安全ではありません)」(②-2) をクリックしてください。



## B. iLO Web インターフェースへのログイン

iLO Web インターフェースに接続できると下図画面が表示されますので、前記作業で控えておいた iLO Web インターフェースの **User Name** と **Password** を①箇所に入力し、「ログイン」ボタンを押します。



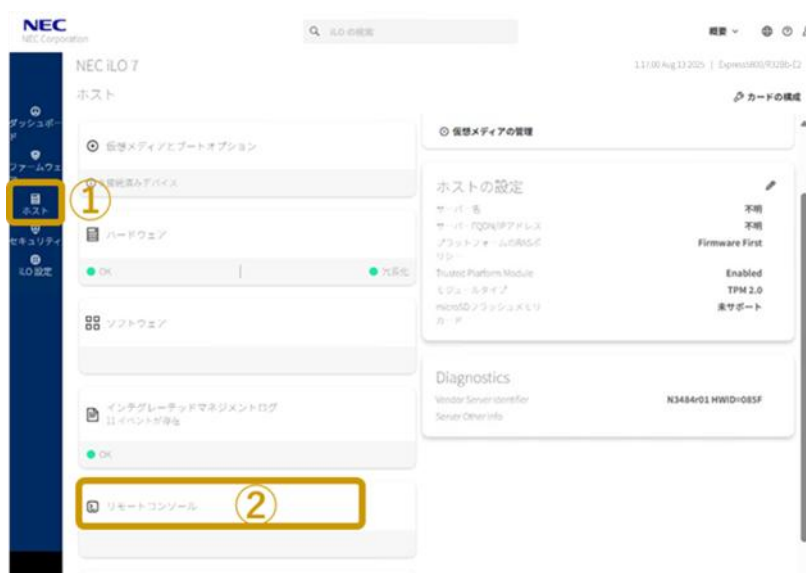
ログインに成功すると、下図画面に切り替わります。



## 5.2. リモートコンソール接続方法

### [step.b-01] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースのナビゲーションペインにて[ホスト] (①)をクリックし、ホスト画面にて[リモートコンソール] (②)をクリックします。

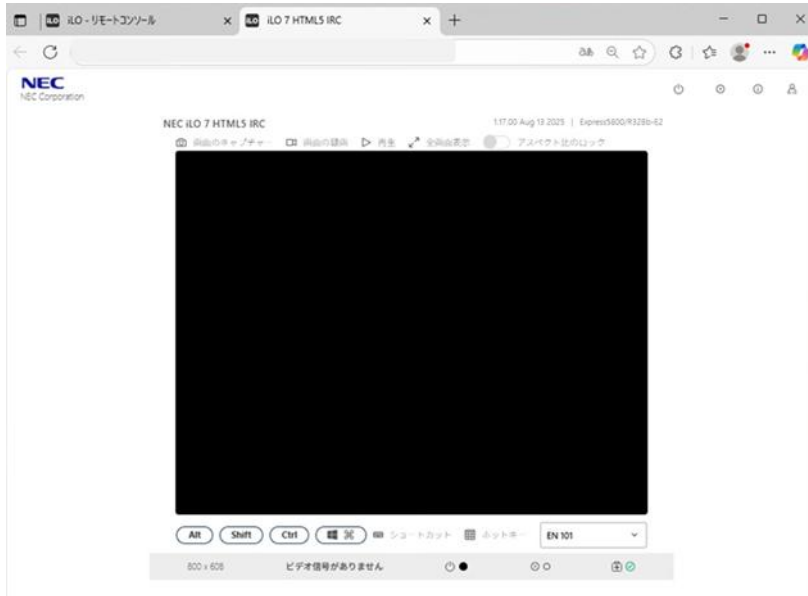


そして、下図リモートコンソール画面にて、[HTML5 コンソールの起動] (③)をクリックします。



そうすると、Web ブラウザ(Microsoft Edge 等)の別タブに、下図コンソールが表示されます。

[HTML5 リモートコンソール]



## 5.3. EXPRESSBUILDER のマウント方法

### [step.c-01] EXPRESSBUILDER のマウント

本体装置から EXPRESSBUILDER ファイル(iso ファイル)が見えるようにします。

#### A. 仮想メディアの選択

下図リモートコンソールの右上の[仮想メディア]ボタン(①)をクリックします。そうすると、仮想メディアメニューがプルダウン表示されますので、「CD/DVD (\*.iso)」の[接続]ボタン(②)をクリックします。

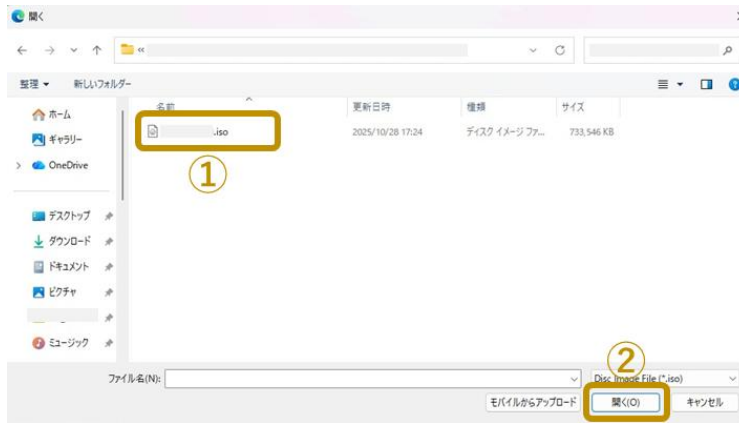


#### B. EXPRESSBUILDER ファイルのマウント

リモートコンソールに、下図ダイアログ BOX がポップアップ表示されますので、「タイプ」項目にて [Local] (①)を選択し、「ローカルファイルパス」項目の[ファイルを選択] (②)をクリックします。




そして、ポップアップ表示された「開く」ダイアログウィンドウにて、予め端末パソコン内に収録しておいた EXPRESSBUILDER ファイル(iso ファイル)(①)を選択し、[開く(O)]ボタン(②)をクリックします。



その後、リモートコンソールに表示されている下図ダイアログ BOX において、「ローカルファイルパス」項目(①)に、前記で選択した EXPRESSBUILDER ファイル(iso ファイル)名が表示されていることを確認した上で、[接続](②)をクリックします。



### C. EXPRESSBUILDER ファイルのマウントの確認

下図リモートコンソールの右上の[仮想メディア]ボタン(  ) (①)をクリックします。そうすると、仮想メディアメニューがプルダウン表示されますので、「CD/DVD (\*.iso)」項目(②)に、「接続されました」と表示されていることを確認します。





プルダウン表示された仮想メディアメニューを消すには、リモートコンソールの空きスペース箇所をクリックします。

---

## 6. EXPRESSBUILDER 更新手順

本体装置にインストールされている EXPRESSBUILDER の更新方法を記載します。



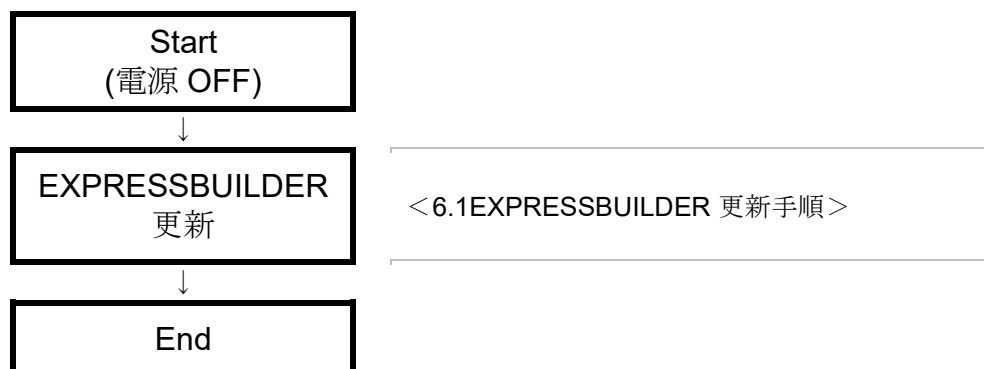
 重要	本作業を行う前に、本体装置の電源が OFF になっていることを確認してください。 具体的には、本体装置正面の POWER ランプがアンバー色に点灯していることを確認してください。
 ヒント	POWER ランプが消灯している場合、電源コードがコンセント或いは本体装置から外れている可能性がありますので、ご確認ください。 POWER ランプが緑色に点滅或いは点灯している場合、本体装置の電源が ON されています。 POWER スイッチを 4 秒以上押し続けて、本体装置の電源を OFF してください(スタンバイ状態にしてください)。 本体装置の電源が OFF されると、POWER ランプがアンバー色に点灯します。

Figure 6-1 作業手順フロー



## 6.1. EXPRESSBUILDER 更新手順

本体装置にインストールされている EXPRESSBUILDER の更新方法を記載します。

### [step.1-01] iLO Web インターフェースへの接続・ログイン

端末パソコンにて Web ブラウザを立ち上げ、本体装置の iLO Web インターフェースに接続・ログインします。

具体的な手順は、前記<5.1iLO Web インターフェース接続方法>を参照してください。

### [step.1-02] リモートコンソールの起動

iLO Web インターフェースからリモートコンソールを起動します。

具体的な手順は、前記<5.2 リモートコンソール接続方法>を参照してください。

### [step.1-03] EXPRESSBUILDER ファイルのマウント

予め端末パソコンに収録しておいた EXPRESSBUILDER ファイル(iso ファイル)が本体装置から見えるようにします。

具体的な手順は、前記<5.3EXPRESSBUILDER のマウント方法>を参照してください。


### [step.1-04] 本体装置 電源 ON

本体装置の電源を ON します。

具体的には、下記何れかの操作を行います。

- 本体装置前面の POWER ボタンを押す。
- iLO Web インターフェースのナビゲーションペインにて[ホスト] (①)をクリックし、ホスト画面にて[電源制御] (②)をクリックする。その後、電源制御画面にて[電源オン] (③)をクリックする。



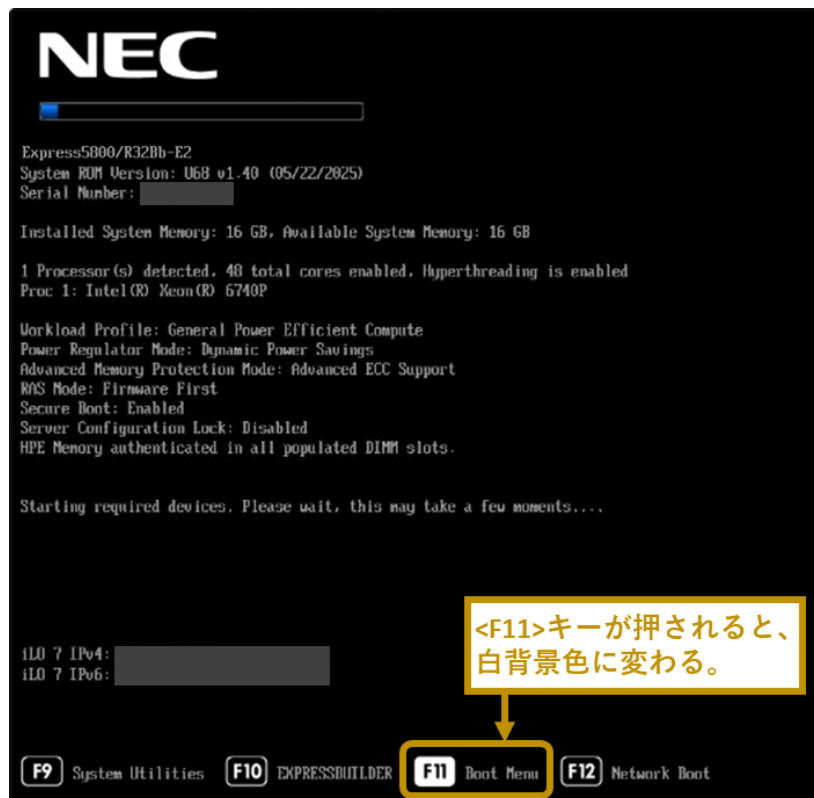
- リモートコンソール右上の電源アイコン (  ) (①)をクリックし、プルダウンメニューから[電源オン] (②)をクリックする。



リモートコンソールでのその他電源操作については、<8.2.3 本体装置の電源制御方法>に記載しております。

### [step.1-05] Boot Menu の起動

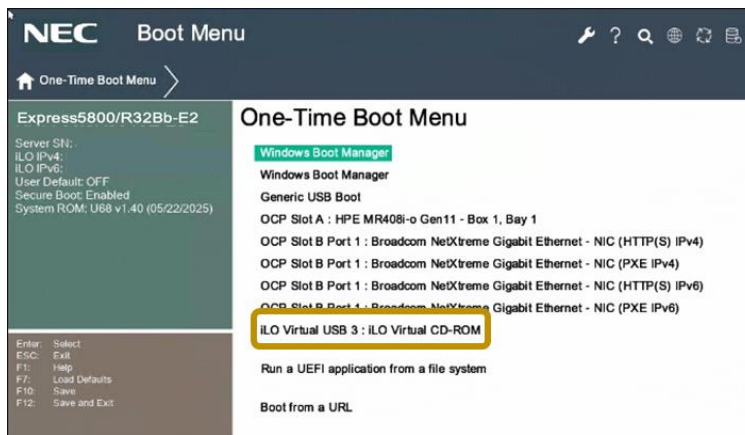
本体装置電源 ON 後、リモートコンソールが下図画面表示になったならば、<F11>キーを押して Boot Menu を起動します。



### [step.1-06] EXPRESSBUILDER の更新

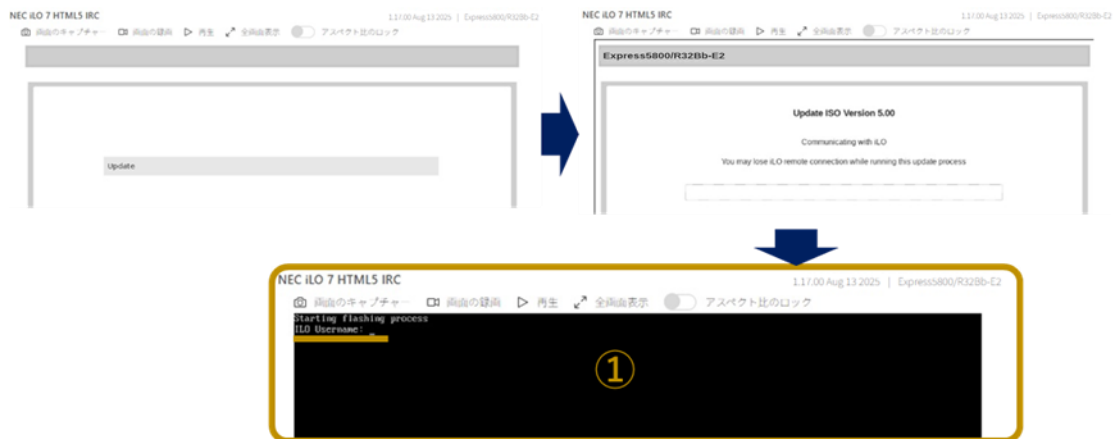
#### A. 起動デバイスの選択


リモートコンソールに表示されているブートメニューにおいて、「iLO Virtual USB 3:iLO Virtual CD-ROM」を選択します。



## B. iLO Username / Password の入力

EXPRESSBUILDER 更新処理が起動され、リモートコンソールが下図のように遷移していきます。そして、下図①画面にて、iLO Username と Password の入力を求められますので、iLO Web インターフェイスにログインした際の iLO ログイン名とパスワードを入力します。





日本語配列(JIS)キーボードを使用している環境下であり、且つ iLO Username あるいは Password に英数字以外の特殊文字(@等)を使用しており、当該特殊文字を入力できない場合には、<7.1[TS-01] 特殊文字(@等)を入力できない>を参照してみてください。

## B. EXPRESSBUILDER 更新の完了待ち

リモートコンソールが下図のように切り替わり、EXPRESSBUILDER の更新が開始されます。




EXPRESSBUILDER 更新が完了すると、リモートコンソールに下記メッセージが表示されますので、当該メッセージが表示されるまで、しばらくお待ちください。


Please remove the CDROM and press ENTER or wait five seconds

```

NEC iLO 7 HTML5 IRC
11:00 Aug 13 2025 | Express5800/R32Bb-E2
画面のキャプチャー 画面の録画 再生 全画面表示 アスペクト比のロック
90:07:43.561 ply.boot.splash.c:390:ply.boot.splash.free : freeing splash
90:07:43.575 main.c:2390:main : freeing terminal session
90:07:43.575 main.c:2402:main : exiting with code 0
Please remove the CDROM and press ENTER or wait five secondserror: unexpectedly disconnected from boot status daemon



```

 **ヒント** EXPRESSBUILDER 更新が完了するまで、約 5 ～ 20 分ほどかかります。



 **ヒント** EXPRESSBUILDER 更新が完了すると、約 5 秒経過後に、自動的に本体装置が再起動します。

### C. EXPRESSBUILDER のマウント解除

EXPRESSBUILDER 更新が完了したら、EXPRESSBUILDER ファイルのマウントを解除します。

具体的には、下図リモートコンソールの右上の[仮想メディア]ボタン(  or  ) (①)の色を確認します。



- [仮想メディア]ボタンの色がグレー(  )であるならば、既にマウントは解除されていますので、次の操作に進みます。
- [仮想メディア]ボタンの色がグリーン(  )であるならば、当該ボタンをクリックします。そうすると、仮想メディアメニューがプルダウン表示されますので、「CD/DVD (\*.iso)」項目の右端「V」マーク(②)をクリックし、続けて、「CD/DVD (\*.iso)」項目配下の[切断](③)をクリックします。



そうすると、下図ダイアログ BOX がポップアップ表示されますので、[はい、切断します](④)をクリックします。



### D. 本体装置の再起動

EXPRESSBUILDER 更新が完了すると、約 5 秒経過後に、自動的に本体装置が再起動します。

**[step.1-07] System Utilities の起動**

再起動後、リモートコンソールが下図画面表示になったならば、<F9>キーを押して **System Utilities** を起動します。

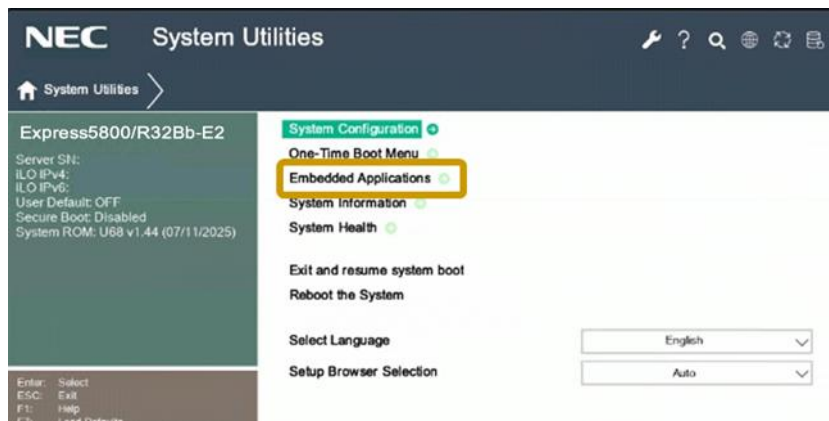


上図 POST 画面表示以前のタイミングで、再起動する場合があります。これは、更新された EXPRESSBUILDER を反映させるための動作であり、正常な動作です。

System Utilities が起動すると、リモートコンソールが下図画面表示に切り替わります。

**[step.1-08] UEFI Shell の起動**

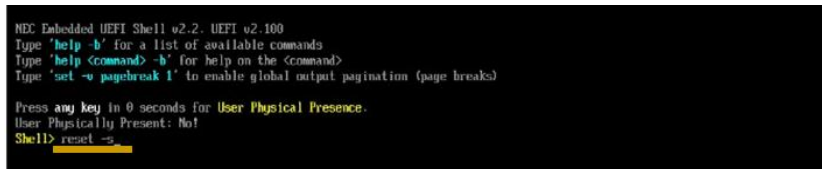
リモートコンソールに表示されている System Utilities 画面において、[Embedded Applications] → [Embedded UEFI Shell] を選択します。



### [step.1-09] 本体装置の電源 OFF

リモートコンソールに表示されている UEFI Shell 画面において、下記コマンドを入力して、本体装置を電源 OFF します。

```
Shell> reset -s
```

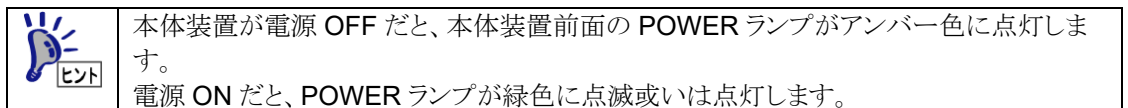


### [step.1-10] 本体装置の AC OFF → ON

EXPRESSBUILDER 更新に係る不測事象を防ぐために、本体装置を {AC OFF → AC ON} させます。

#### A. 本体装置の AC OFF

本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯していることを確認した後、本体装置の全ての電源コードを本体装置から抜き AC OFF してください。

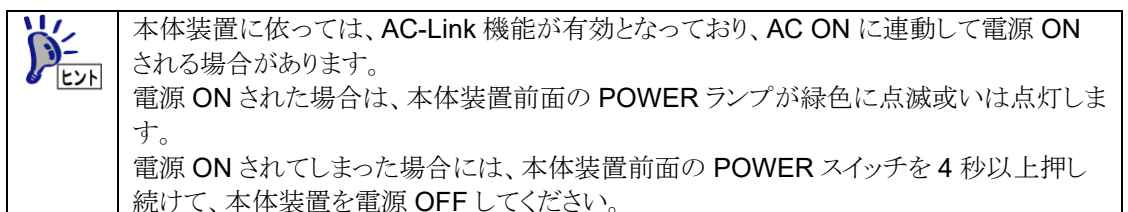


#### B. 本体装置の AC ON

本体装置を AC OFF した後、30 秒以上経過後に、本体装置の全ての電源コードを本体装置に差し込み AC ON させてください。

そして、本体装置が AC ON 完了するまで待ち合わせます。

具体的には、本体装置前面の POWER ランプがアンバー色に点灯するまで待ち合わせます。



以上で、EXPRESSBUILDER 更新作業は終了です。

## 7. トラブルシューティング

Table 7-1 トラブルシューティング一覧

No.	トラブル概要
<a href="#">TS-01</a>	特殊文字 (@等) を入力できない

### 7.1. [TS-01] 特殊文字 (@等) を入力できない

#### 7.1.1. 現象

使用 EXPRESSBUILDER	全て
発生タイミング (*a)	[step.1-06] EXPRESSBUILDER の更新
(*a) 本書更新ガイドにおいて、現象が起きた手順箇所を表す。	

日本語配列(JIS)キーボードを使用している環境下において、英数字以外の特殊文字 (@等) を入力できない。

#### 7.1.2. 対処

下表を参考に、キー操作してみてください。

入力したい文字	キー操作	入力したい文字	キー操作
"	<Shift> + :	`	半角/全角
&	<Shift> + 7	@	<Shift> + 2
'	:	{	<Shift> + @
(	<Shift> + 9	[	@
)	<Shift> + 0	+	<Shift> + ^
=	^	*	<Shift> + 8
~	<Shift> + 半角/全角	:	<Shift> + ;
^	<Shift> + 6	}	<Shift> + [
	(無し)	]	[
¥	(無し)	_	<Shift> + -

## 8. 付録

### 8.1. EXPRESSBUILDER バージョン確認方法

#### 8.1.1. iLO Web コンソールでの確認方法

iLO Web インターフェースのナビゲーションペインにて[ファームウェア] (①)をクリックし、ファームウェア画面にて[ファームウェアインベントリ] (②)をクリックします。



そして、下図ファームウェアインベントリ画面の③箇所にて、EXPRESSBUILDER バージョンを確認できます。

ファームウェア名	EXPRESSBUILDER
EXPRESSBUILDER	5.00.7

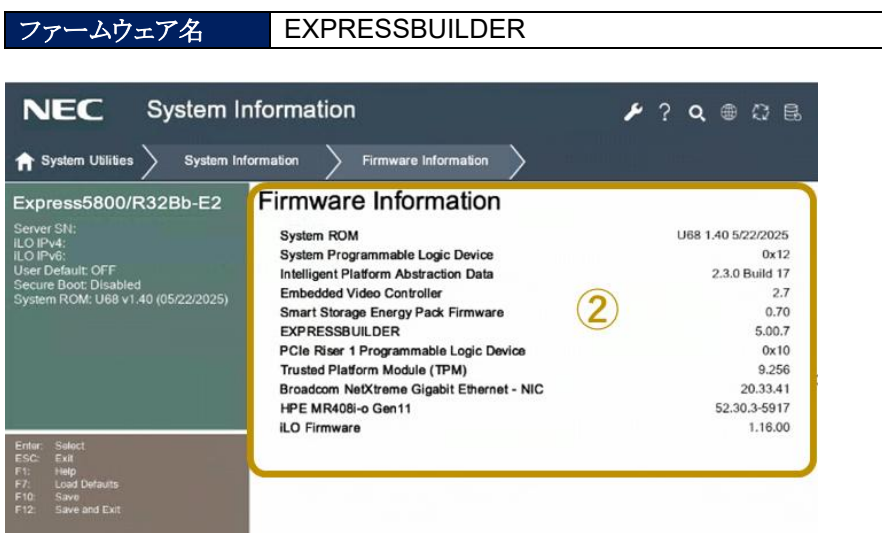
ファームウェア名	ファームウェアバージョン	ロケーション
8 SFF 24G x1NVMe/SAS UBM6 BC BP	1.04	Slot=14;Port=2;Box=3
8 SFF 24G x1NVMe/SAS UBM6 BC BP	1.04	Slot=14;Port=2;Box=3
BCM 5/19 1Gb 4p BASE-T OCP Adptr	20.33.41	OCP Slot B
Broadcom NetXtreme 5/19 Quad Port Gigabit PCIe Adapter - NIC	20.33.41	PCI-E Slot 1
Broadcom NetXtreme 5/19 Quad Port Gigabit PCIe Adapter - NIC	20.33.41	PCI-E Slot 4
Broadcom P210tep NetXtreme-E Dual-port 10GBASE-T Ethernet PCIe Adapter - NIC	232.1.132.8	PCI-E Slot 3
Broadcom P210tep NetXtreme-E Dual-port 10GBASE-T Ethernet PCIe Adapter - NIC	232.1.132.8	PCI-E Slot 6
Embedded Video Controller	2.7	Embedded Device
EXPRESSBUILDER	5.00.7	System Board
HPE MR216i-o Gen11	52.30.3-5917	OCP Slot A
HPE SN1610Q 32Gb 1p FC HBA	2.10.09	PCI-E Slot 2
HPE SN1610Q 32Gb 1p FC HBA	2.10.09	PCI-E Slot 5
iLO 7	1.17.00 Aug 13 2025	System Board

## 8.1.2. System Utilities での確認方法

- ① 下図 BIOS POST 画面表示時に、<F9>キーを押して System Utilities を起動します。



- ② System Utilities 画面において、{System Information → Firmware Information}と選択します。そして、Firmware Information 画面(下図②箇所)にて、EXPRESSBUILDER バージョンを確認できます。



## 8.2. HTML5 リモートコンソール

### 8.2.1. コンソールの起動

iLO Web インターフェースのナビゲーションペインにて[ホスト] (①)をクリックし、ホスト画面にて[リモートコンソール] (②)をクリックします。

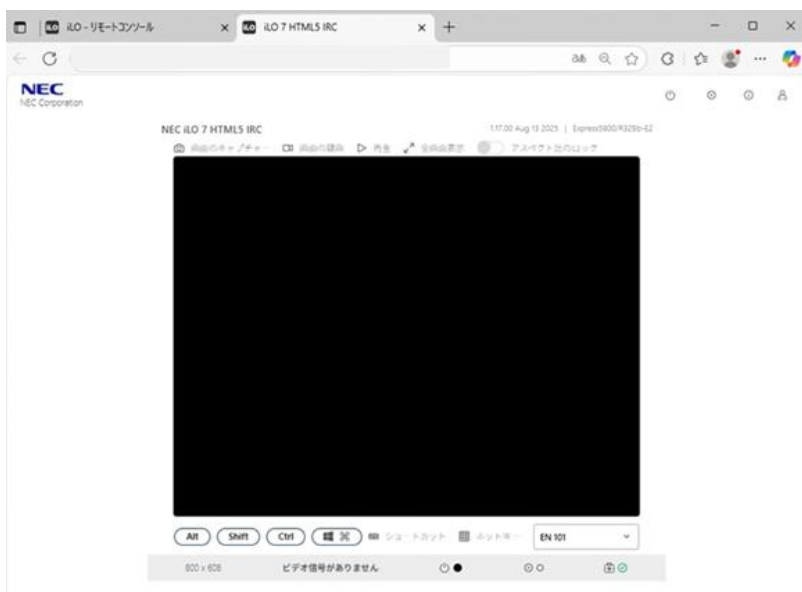


そして、下図リモートコンソール画面にて、[HTML5 コンソールの起動] (③)をクリックします。



そうすると、Web ブラウザ(Microsoft Edge 等)の別タブに、下図コンソールが表示されます。

[HTML5 リモートコンソール]



## 8.2.2. 仮想メディアのマウント方法

端末パソコン内収録 iso ファイルが本体装置から見えるようにする方法を記載します。

### A. 仮想メディアの選択

下図リモートコンソールの右上の[仮想メディア]ボタン(①)をクリックします。  
そうすると、仮想メディアメニューがプルダウン表示されますので、「CD/DVD (\*.iso)」の[接続]ボタン(②)をクリックします。

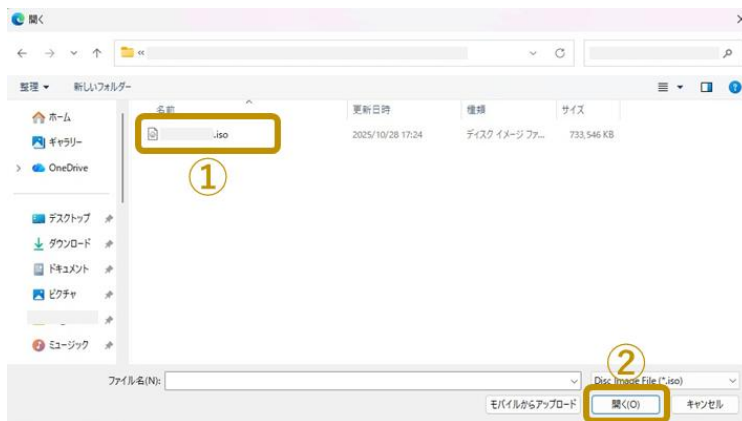


### B. iso ファイルのマウント

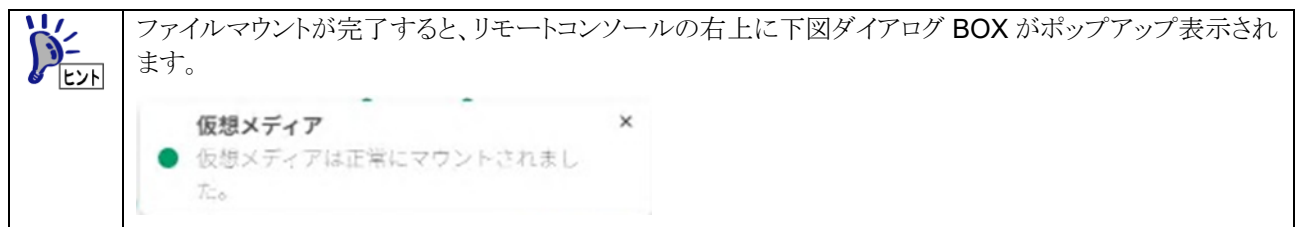
リモートコンソールに下図ダイアログ BOX がポップアップ表示されますので、「タイプ」項目にて[Local] (①)を選択し、「ローカルファイルパス」項目の[ファイルを選択] (②)をクリックします。




そして、ポップアップ表示された「開く」ダイアログウィンドウにて、予め端末パソコン内に収録しておいた iso ファイル (①) を選択し、[開く(O)] ボタン (②) をクリックします。

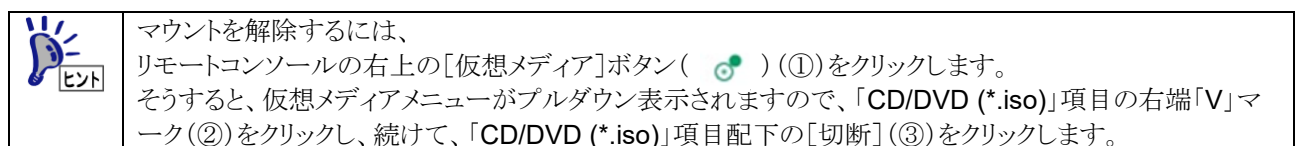
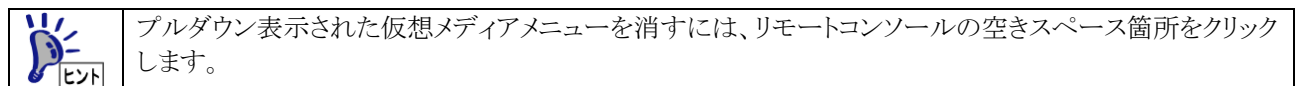


その後、リモートコンソールに表示されている下図ダイアログ BOX において、「ローカルファイルパス」項目 (①) に、前記で選択した EXPRESSBUILDER ファイル(iso ファイル)名が表示されていることを確認した上で、[接続] (②) をクリックします。




### C. iso ファイルのマウントの確認

下図リモートコンソールの右上の[仮想メディア]ボタン(  ) (①)をクリックします。そうすると、仮想メディアメニューがプルダウン表示されますので、「CD/DVD (\*.iso)」項目(②)に、「接続されました」と表示されていることを確認します。





### 8.2.3. 本体装置の電源制御方法

リモートコンソール右上の電源アイコン (  ) (①) をクリックすると、電源操作メニュー (②) がプルダウン表示されます。表示される電源操作メニューは、本体装置の電源状態に依り異なります。

[本体装置電源 OFF 状態のとき]



[本体装置電源 ON 状態のとき]



各電源操作メニューのアクションは下表の通りです。

本体装置電源状態	電源操作メニュー	アクション
OFF	電源オン	本体装置の電源を ON します。
ON	正常なシャットダウン	本体装置の電源を OFF しようとしています。 但し、実際に電源 OFF されるか否かは OS 設定等に依存します。
	強制電源オフ	本体装置の電源を強制的に OFF します。

---

		その他手段で本体装置の電源を OFF できないケースのときのみ使用してください。
	電源再投入	本体装置の電源を強制的に OFF した後、再度本体装置の電源を ON します。 OS 上から本体装置を再起動できないケースのときのみ使用してください。
	リセット	本体装置を強制的に再起動します。 OS 上から本体装置を再起動できないケースのときのみ使用してください。

NEC

Express5800/R32Bb シリーズモデル

EXPRESSBUILDER 更新ガイド

2026 年 5 月 第 1 版

日 本 電 気 株 式 会 社

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号  
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

落丁、乱丁はお取り替えいたします。

© NEC Corporation 2026

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。